



ハンガリー政府観光局 ニュース 2008年8月13日 No.141

- **ブダペスト交通局乗車券の改札と検札**
- **国会議事堂の見学チケット**
- **ニセ警官にご注意**
- **第17回ブダペスト国際ワイン祭り**
- **新しいスタイルのグヤーシュスープ**
- **ハンガリーイメージ(料理本)**

**ブダペスト交通局乗車券の改札と検札**

ブダペスト交通局は、地下鉄、路面電車、バス、トロリーバス、登山電車を運行しており、観光客の重要な足となっていますが、改札システムや乗車券の有効区間が日本と異なることから、誤った乗車をすることで、罰金(6,000HUF)を請求されるケースが見られます。

特に交通局は検札を強化しており、たとえ有効な乗車券を持っていても、改札機を通していない場合や乗車システムを知らなかったなどの理由でも、罰金を逃れることはできません。

他国との改札システムや有効区間の相違点は、

- **改札機でバリデーション(有効化)**  
日本のように自動改札機などのゲート式の改札システムではなく、地下鉄駅構内や、路面電車などの車内にある改札機で改札(バリデーション)する方式です。
- **1乗車1乗車券**  
ブダペストでは、1乗車ごとに1枚の乗車券が必要な運賃制で、ウィーンやプラハのようにゾーン内であれば乗換ができるゾーン運賃制とは異なります。

誤った乗車のケースは、

- 改札機で改札(バリデーション)せずに乗車や駅構内に立ち入りするケースや、
- 地下鉄を乗り継ぐ際に、新たな乗車券を改札せずに乗車するケースがあります。



ブダペスト地下鉄駅構内の改札機と乗車券のバリデーション例(上から順に穴を開けるタイプ、印字とカットのタイプ、印字のみのタイプ)

乗車券には1回券(270HUF)のほか、次の乗車券やクーポンがあります。滞在日数などに応じて利用することをお勧めします。

- 1回券 10枚セット: 2,350HUF
- 1日券: 1,550HUF
- 3日券: 3,400HUF
- 7日券: 4,000HUF
- 14日券: 5,300HUF(要写真)
- 車内で購入する1回券: 350HUF

なお、均一料金制をとるミシュコルツやデブレツェン、セゲドなどの地方都市でも同様の注意が必要です。

## ニセ警官にご注意

最近旅行者から、ニセ警官による被害の報告を受けました。同様な被害にあわないようにご注意ください。

くさり橋近くで発生した犯罪の手口は次の通りです。

1. 路面電車を下車し、写真撮影をしていたところ、1人の男が地図を持って近づきながら話しかけてきた。このとき他の下車客は全ていなくなり、被害にあった2人だけの状態であった。
2. その後2人の警察官が近づき、話しかけると共に、英語でポリスマンと言いながら顔写真付きの身分証明書を見せた。
3. 続けてなにやらしゃべり、そのうち「ドラッグ」と言い出し、パスポートの提示を求め、さらに「マネー」と言って、財布を出すように要求した。
4. 警察官は財布の紙幣を数え財布に戻し、(被害者に返した後)何事かを言いながら、3人とも被害者から離れていった。
5. その後、支払いのため財布の中身を調べると高額紙幣がなくなっているのに気が付いた。

犯罪の特徴は警察官を装い現地語らしい言葉でまくし立て、相手を当惑させておいて手品でもするように、高額紙幣を抜き取る、ということです。

かつてニセ警官が多く出没したため、警察が取り締まりを強化した結果、なりを潜めていたようですが、再び犯罪行為を行っているようです。また、スリや置き引きなどの被害も報告されています。観光の際は、次の点以後注意下さい。

- 私服警官がパスポートの提示を求めることは原則無いので、運悪く上記に類似状況下に遭遇した場合は、無視する。
- 所持する現金は最小限にし、分散して携行する。

なお、この犯罪はブダペストだけで発生するものではなく、ヨーロッパの他の都市でも発生しています。

一方、暴力バーで法外な料金を請求され、強制的に払わされたという被害もありました。

その手口とは、

1. ホテル内の観光パンフレットラックにあった、ナイトスポットのカードを持ってホテルの前に行ったタクシーに乗って出かけた。
2. 到着したバーで店の女性とビールを飲んでいると、頼みもしないワインが出された。
3. 帰ろうとすると、ビール1本数千円、総額数十万円という高額な請求書を突きつけられた。
4. 現金が無いというと、強制的にクレジットカードでキャッシングさせられた上、支払わされた。

この犯罪は、タクシーとナイトクラブがグルとなった犯罪と見られ、タクシー運転手が本来被害者がホテルで手にしたカードの店とは別の店に連れて行ったものと見られます。

ブダペスト市内には、健全な娯楽スポットが沢山あります。ホテルのコンシェルジェなどに、店への行き方や名称など正確に確認すると共に、信頼できるタクシーを呼んでもらいます。

## 新しいスタイルのグヤーシュスープ

ハンガリーの最高級レストランのひとつグンデル(Gundel)は、客の健康志向へこたえるため、ハンガリーの名物料理、グヤーシュスープの新バージョンを提供しています。

新任のチーフシェフの名を取り、Chef János' new Version of Gulyás と名づけられた、新しいグヤーシュは、お皿の上にヒレ・ステーキ、ベークしたジャガイモとミニトマト、パプリカ、ノケルディ(ニョッキ)が盛り付けられ、鮮やかな赤いグヤーシュソースをかけてあり、サイドにはコンソメスープが添えられています。

食べ方は自由！



## 国会議事堂の見学チケット

ブダペストのランドマークの一つ国会議事堂は、国の宝「聖なる王冠」が展示されていることや内装が豪華であることから、観光客に人気のあるアトラクションの一つになっています。

一般個人旅行者が、この議事堂内部を見学する場合には、ハンガリー語を始め、英語やイタリア、ドイツ、フランス語などのガイド付きのツアーに参加する必要があります。

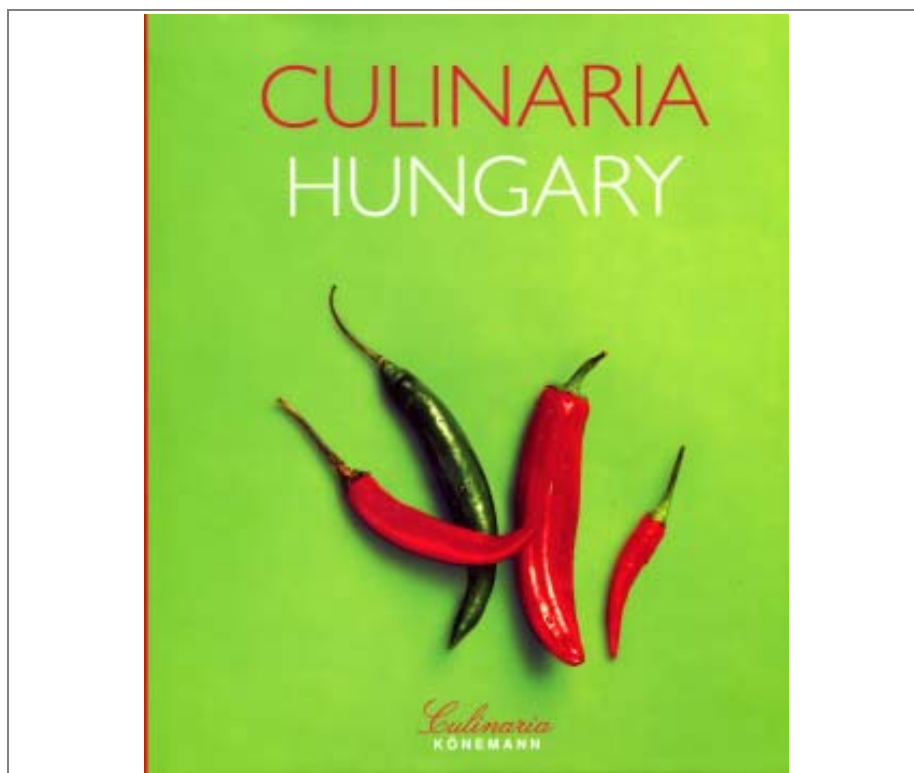
ちなみに英語のツアーは毎日 10 時、12 時、14 時で、料金は大人 2,640HUF、国際学生証を持つ学生 1,320HUF です。(国会の行事等により予告なしに、ツアーがキャンセルされることがあります)

チケット売り場は、毎日 8 時から開いているので(平日 18 時まで、土 16 時まで、日 14 時まで)、希望する時刻がある場合早めに購入することをお勧めします。一般個人の前日までの予約はできません。詳細は[www.hungarytabi.jp/parlame.html](http://www.hungarytabi.jp/parlame.html)

## 第 17 回ブダペスト国際ワイン祭り

ハンガリー最大のワイン祭りである、「第 17 回ブダペスト国際ワイン祭り」(ブダ王宮で 9 月 10 日から 14 日まで開催)が、メトロガイド[www.metroguide.jp](http://www.metroguide.jp) の「世界の祭り」のコーナーで紹介されています。

## ハンガリーイメージ(料理本)



ハンガリー料理を大平原地方、ブダペストとその周辺、北ハンガリー地方、ドナウ川以西地方に分けて、美しい写真と共に料理素材、料理法、料理のいわれなどを紹介した、見ているだけで楽しくなる絵本のような料理本。

Könnemann 社発行の Culinaria 料理本シリーズで 318 ページ、英語版とハンガリー語版があり、それぞれ 3 千円程。